



気をつけよう！感染症（令和7年第2号）

令和7年1月29日発行
松本市保健所保健予防課

いま気をつけたい **百日咳**

百日咳と診断された方が増えています！

百日咳は、百日咳菌によって起こる急性の気道感染症で、名前のとおり激しい咳をとまなう病気です。現在、松本市内において、増加傾向にあります。

○感染経路

感染している人の咳やくしゃみなどによる飛沫感染
菌に触れた手指などを介した接触感染



○症状

おおよそ5～10日（最大3週間程度）の潜伏期間があります。
症状の経過は、主に3期に分けられます。

①カタル期（約2週間持続）

普通のかぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて激しくなる。

②痙咳期（約2～3週間持続）

次第に特徴ある発作性けいれん性の咳（痙咳）となる。

痙咳：短い咳が連続的に起こり、息を吸う時に笛の音のようなヒューという音が出る。

③回復期（2、3週～）

激しい咳は次第に弱くなるが、その後も時折発作性の咳が出る。全経過約2～3か月で回復する。

★乳児では重症化し、まれに亡くなってしまうこともあります。成人では軽い症状の場合もあり、気づかないうちに人にうつしてしまう場合があります。

予防のポイント

○手洗い・うがいの徹底

○こまめな換気

○ワクチン接種



百日咳ワクチンを含む四種又は五種混合ワクチンの定期接種をまだ完了していないお子さんは、スケジュールを確認して接種しましょう。（生後2か月～7歳6か月未満）

症状がある場合

○咳エチケット

症状がある場合は、マスクの着用・咳エチケットを心がけましょう。

○早めの受診

咳が長く続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

早期（①カタル期）に抗菌薬を服用すれば、症状の軽減と周囲への感染リスクの低下が期待できます。

百日咳は、学校保健安全法で出席停止が定められています。
特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで出席停止とされています。

詳しくはこちら

[「百日咳とは」\(国立感染症研究所\)](#)



松本市感染症情報
2025年第4週(01月20日～01月26日)

※速報値

今週の発生状況

○全数把握感染症

今週は百日咳の発生が1件ありました。

現在、百日咳が松本市内において増加傾向にあります。咳が長く続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

○定点把握感染症

インフルエンザの患者数が注意報基準を超えています。また、集団発生が複数確認されています。

【定点把握感染症報告状況】

インフルエンザ/COVID-19 (10定点)

年齢		～5か 月	～11か 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	合計	前週 状況	定点あたり の報告数	注意報 基準	警報 基準
インフルエンザ	男			1	2	4	5	6	1	2	4	5	23	10	5	8	4	5	3	3	8	91	90	17.70	10	30
	女			1	2	1	3	4	2		7	7	17	5	6	5	11	2	2	3	8	86	96			
COVID-19	男	1		1		2	2		1	1			2	4	4	3	8	2	2	2	2	37	30	6.40		
	女	1	1	1	1		2		1			1		3	3		3	2	2	3	3	27	24			

小児科 (6定点)

年齢		～5か 月	～11か 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上	合計	前週 状況	定点あたり の報告数	注意報 基準	警報 基準
RSウイルス感染症	男		1	2												3	1	0.83		
	女			1	1											2	0			
咽頭結膜熱	男								1							1	0	0.17		3
	女															0	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男				1		1	2					1			5	2	1.50		8
	女							2	1		1					4	2			
感染性胃腸炎	男		1	2		4	1	1		2	2	1	3	1		18	13	5.83		20
	女			2	1	3	1			1	3	1	1	1	3	17	14			
水痘	男															0	0	0.17	1	2
	女										1					1	1			
手足口病	男								1							1	0	0.17		5
	女															0	0			
伝染性紅斑	男					1										1	2	0.67		2
	女					1					2					3	2			
突発性発しん	男															0	0	0.17		
	女		1													1	1			
ヘルパンギーナ	男															0	0	0		6
	女															0	0			
流行性耳下腺炎	男															0	0	0	3	6
	女															0	0			

眼科 (1定点)

年齢		～5か 月	～11か 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	合計	前週 状況	定点あたり の報告数	注意報 基準	警報 基準
急性出血性結膜炎	男																				0	0	0		1
	女																				0	0			
流行性角結膜炎	男																				0	0	0		8
	女																				0	1			

基幹 (1定点)

年齢		0歳	1～4 歳	5～9 歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上	合計	前週 状況	定点あたり の報告数
細菌性髄膜炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
無菌性髄膜炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
マイコプラズマ肺炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
クラミジア肺炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																	0	0	0
	女																	0	0	

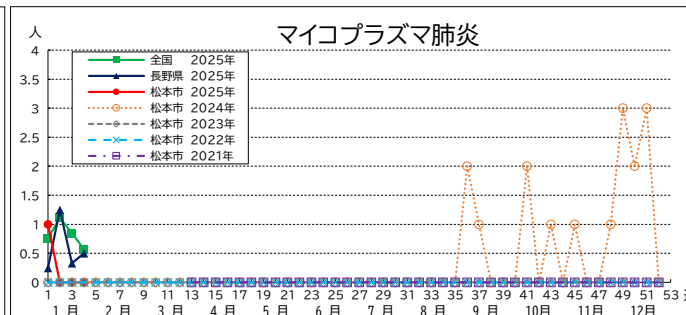
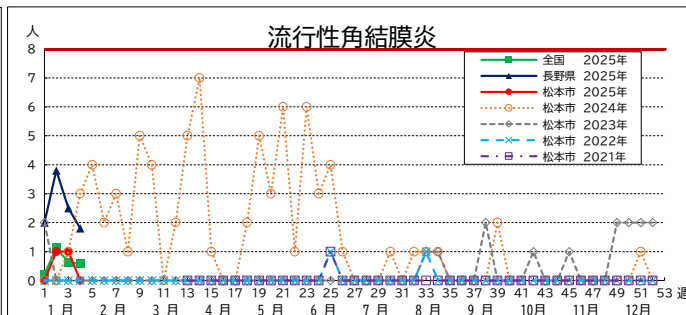
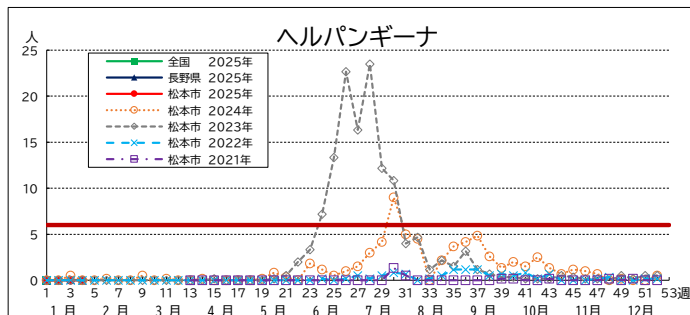
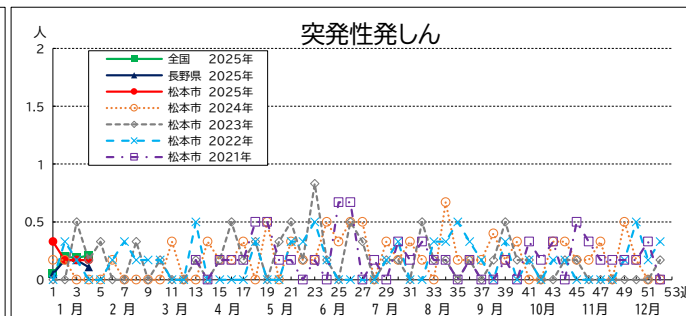
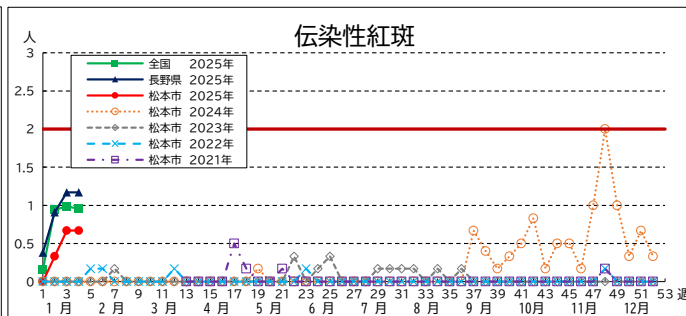
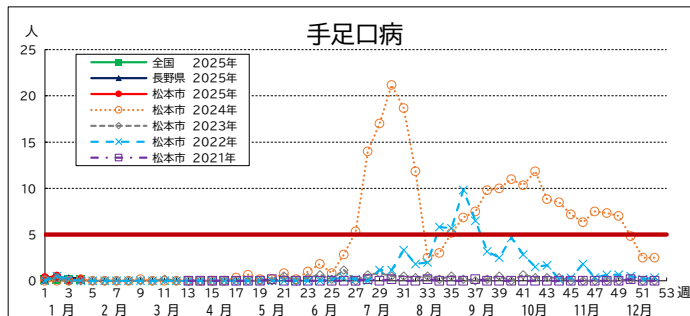
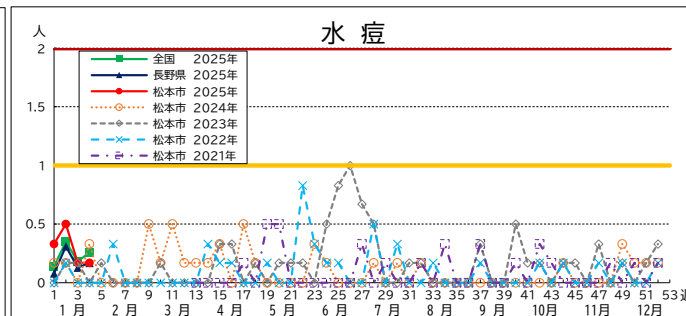
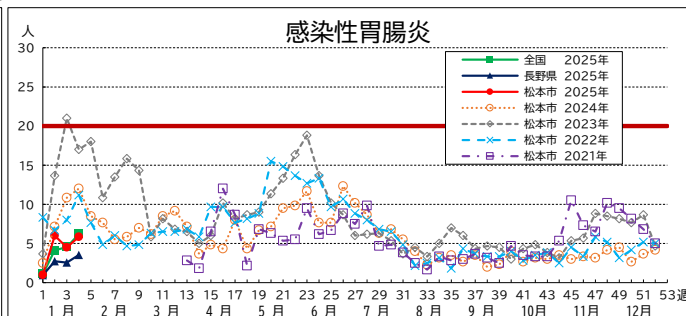
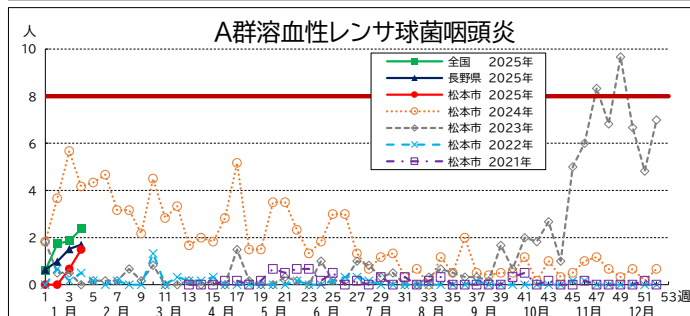
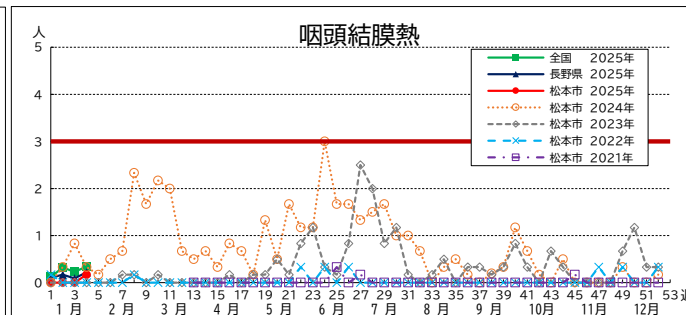
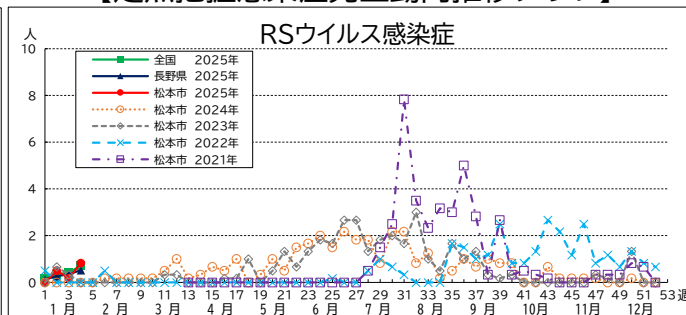
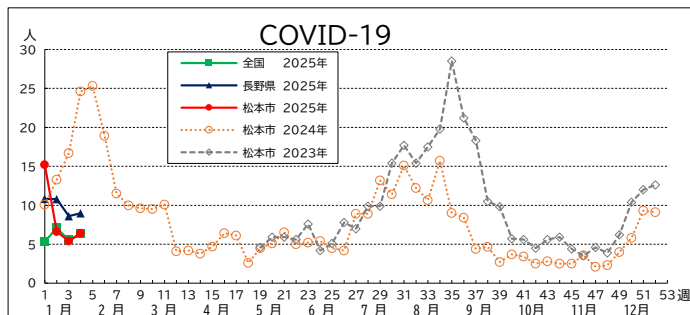
●警報基準を超える疾患:なし

●第5週は2月5日(水)掲載予定です。

●注意報基準を超える疾患:インフルエンザ

●松本市インフルエンザ情報を掲載しています。

【定点把握感染症発生動向推移グラフ】



(人数は1定点当たりの報告数)

【全数把握感染症届出状況】(2025年1月～)

	一類(7)							二類(7)							三類(5)					四類(44)			
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群(SARS)	中東呼吸器症候群(MERS)	鳥インフルエンザ(H5N1)	鳥インフルエンザ(H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	ウエストナイル熱(脳炎)	A型肝炎	エキノコックス症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	2	0	0	0

	四類(44)																						
	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回歸熱	キャサナル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	エムボックス	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

	四類(44)																	五類(24)					
	ハンタウイルス肺症候群	Bウイルス病	鼻疽	ブルセラ症	ペネズエラウマ脳炎	ハンドラウイルス感染症	発しんチフス	ポツリヌス症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサウイルス感染症	リフトバレー熱	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	ロッキー山紅斑熱	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎(A・E型除く)	CRE感染症	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	急性脳炎(日本脳炎等を除く)	クリプトスポリジウム症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	1	0	2	0	0	0

※CRE・・・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

	五類(24)																	
	加伊エルブ病	劇症型溶血性レバ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院)	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	VRSA感染症	VRE感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネバクター感染症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0
松本市2024年(参考)	1	14	0	0	4	0	2	1	0	18	1	0	0	0	4	0	0	0

<松本市ホームページ 感染症情報>

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/1552.html>

<長野県ホームページ 長野県感染症情報>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/index.html>

<厚労省ホームページ 感染症情報>

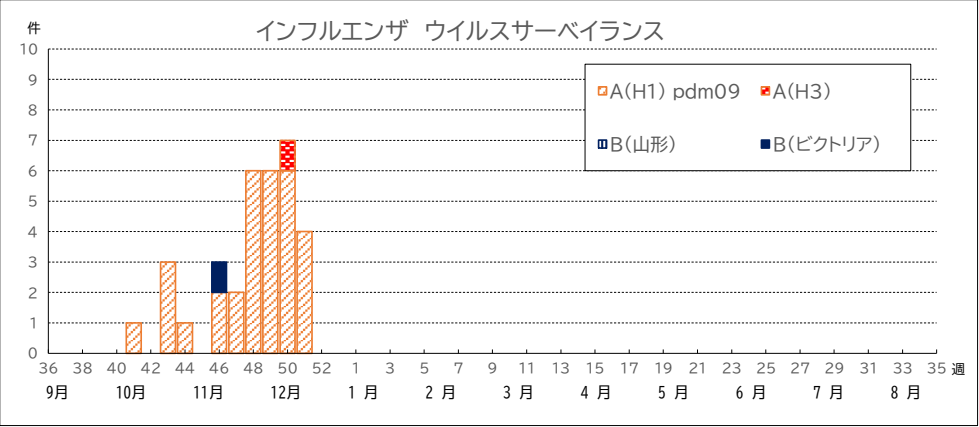
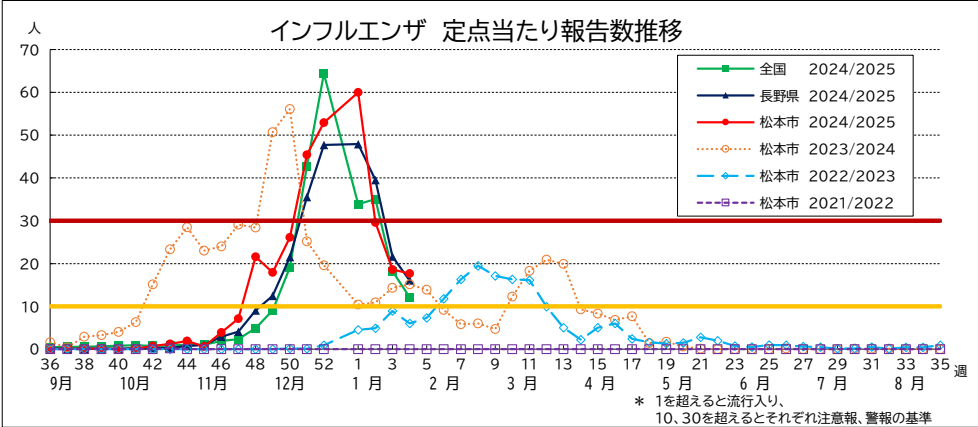
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/index.html>

<松本市ホームページ インフルエンザ(季節性インフルエンザ)>

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/1550.html>

松本市インフルエンザ情報(2024-2025シーズン)
2025年第4週(01月20日～01月26日)

※速報値



○インフルエンザウイルスサーベイランス

週数	検体数	A(H1) pdm09	A(H3)	B(山形)	B(ビクトリア)	その他	不検出	検査中
第52週 (12/23～12/29)	5							5
第01週 (12/30～1/5)	0							
第02週 (1/6～1/12)	3							3
第03週 (1/13～1/19)	8							8
第04週 (1/20～1/26)	3							3
今シーズン累計(2024年第36週から)	60	31	1	0	1	0	7	20
前シーズン累計(2024年第19週まで)	164	38	93	0	26	0	7	0
前々シーズン累計(2023年第35週まで)	108	0	95	0	5	0	8	0

*検体採取日を基準とする

○インフルエンザ集団発生サーベイランス

週数	学校等欠席情報								社会福祉施設集団発生			
	休校・休園数	学年閉鎖数	学級閉鎖数	施設数					児童福祉施設	高齢者施設	障がい者施設	その他
				幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他				
第52週 (12/23～12/29)			22		8	1	1	1	4	1		
第01週 (12/30～1/5)												
第02週 (1/6～1/12)			1				1				1	
第03週 (1/13～1/19)			6		1	1	1		1			
第04週 (1/20～1/26)			4	1	2		1			1		
今シーズン累計(2024年第36週から)	1	1	112	4	39	14	7	2	9	2	1	0
前シーズン累計(2024年第19週まで)	3	29	280	12	115	40	13	7	27	1	1	0
前々シーズン累計(2023年第35週まで)	0	3	88	6	34	9	2	3	13	0	0	0

*学校等欠席情報は、休校・休園、学年閉鎖、学級閉鎖等の措置件数及び施設数の延べ数を公表する。週数については措置開始日を基準とする。

*社会福祉施設集団発生は、①重篤または死亡者が2名以上の発生。②患者が10名以上の発生。のいずれかが発生した施設数を公表する。

週数については施設からの報告日を基準とする。